


◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 映 画 感 想 文 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

A グ ル ー プ	1	藤井 香	私達があたりまえに通える学校。しかし、あたりまえと思っではいけないのだと映画を見て気づきました。私達の国が豊かであることを生かして、世界のペンを持たない女性達を支援すべきだと思いました。
	2	公文 英里	映画鑑賞をして感じた事は、強く女性が生きているという事です。自分の意志を強くもち、まっすぐに自分の道をすすんでいると思いました。学べる事、あたり前の生活ができてい事に感謝をしなければいけないという事を感じました。
	3	原 実李	私よりつらい環境で私よりずっと強く、キラキラ輝いている女の子がたくさんいて尊敬しました。自分にできる手助けからしたいと思います。
	4	山下 葉月	外国の事態を映画として見る事ができて、とてもいい経験になりました。過酷な状況の中でも強く生きる女性はとてもすてきで輝いていました。
	5	柏原 玲那	発展途上国において女性の権利はとても低いものだと分かった。見知らぬ人といきなり結婚させられて教育を受けることもできない…。日本人の私たちとは大違いの環境に驚きを隠せなかった。日本人の私たちができること、だれにでもできることは食べ物を食べられること、家族がいること、生きることができると、夢がもてることなど全てのことに感謝しながら、生きたくても生きられない人の分まで生きることだと思う。命を大切にしていきたい。
	6	池田 穂乃香	同じ人間であるはずなのに、産まれてくる場所が違ったり、タイミングが違ったりするだけでこんなにも差が出るものなのかと心が痛みました。彼女達に希望を持たせるためにはどうすればいいのか、考えてもよく分かりません。私はこれからどう生活していくのか、考え直すべきであると強く感じました。
B グ ル ー プ	1	大月 志乃	私たちの生活とはほとんど真反対で自分の意志もまともに受け入れられない現実で必死に生きようとする彼女たちは自分たちよりはるかに強いと思った。大切な人や生きていくために欠かせないものを守るために命をかけなければいけないこと。私たちの当たり前はけっして当たり前ではないということ学びました。
	2	佐伯 雛子	自分がいかに恵まれているか。教育の大切さ色々なことに気付かされた。今も苦しんでいる人々の声をきき、救いたいと思った。女性をもっと大切にしなければならない。
	3	原 ちひろ	私は世界で困っている人を助けたいという夢をもっています。今日見た映画は私をもっと頑張っていこう！と思わせてくれました。一生懸命勉強して映画のような子どもたちを一人でも多く救いたいです。
	4	小島 生宙	いろんな世界の女の子が全くちがう環境のなかで、それぞれがかがやいていました。「人類の未来は私の中に」という言葉が心に残りました。
	5	後藤 つむぎ	「何も発信しないなら、私の味方ではありません。」この言葉にドキッとしてしまいました。人の役に立ちたい、社会に貢献したいという思いに行動がついていかないのをもどかしく思いました。行動する勇気を持てるように自分に自信をつけていきたいです。
	6	平松 亜梨紗	生きていくには環境だけでなく、自分の努力でなんとかできるんだと思いました。

C グ ル ー プ	1	野津 瞳	一番強く思ったのは“日本人で良かった”と言うことです。今の自分だけではなく世界の女の子たちにも目を向け、サポートしたいと思いました。
	2	井脇 七海	この映画を見て、あらためて“変わること”と“助けてくれること”の大切さを感じました。家族や友人だけでなく、見知らぬ人からの助けがどれくらい学校へ行く環境を作ってくれたり支えてくれるのかを考えさせられました。
	3	梶谷 彩加	世の中には様々な環境下で生活している人たちがいることを改めて知りました。女性に主張する権利や教育を受ける権利が無いということはあってはならないと思います。もっとたくさんの人に知ってもらってこの状況を変えていくべきだと思います。しかし、夢を持っている人は強いと思いました。
	4	芳賀 友美	児童労働のことは知っていましたが、現地の女の子たちの姿を見て、より、実感が湧きました。安全に教育を受けることのできる環境に感謝！学校の人々と見て共有したい！！
	5	本郷 瑠菜	密着した形で発展途上国の生活を観ることができ、改めて現状を理解することができた。自分にはキャパオーバーだと感じた。身近なことから自分に出来ることを考え実行していきたいです。
	6	坂井 美月	同じ女性として、こんなにも違うものなのかと訳もなく悲しい気分になった。どんな環境であれくじけない心を持つことは、何よりも大切でカッコいいと思った。
D グ ル ー プ	1	濱田 捺未	見ているうちに、胸がもやもやして、気分が悪くなってしまいました。映画に出てきた方たちのように、私も、困難からにげずに戦わなきゃと思いました。
	2	石橋 夏海	女性について今まで学んできたこともありましたが、今まで知らなかった現実を映画から知ることができました。そんな悲しく厳しい中でも前向きな思いを無くさない女の子を見て本当に尊敬したし、私がやらなければいけないことはあると思いました。
	3	小幡 鈴	アフガニスタンでのエピソードに衝撃をうけた。このような現実があることを忘れてはならないし、また自分が現地に行くことで変えることができるのではないかと強く思った。自分の将来についてまた考えが深まった。
	4	高岡 美里	一番印象に残ったのは、アフガニスタンの少女の話でした。ボールで顔をかくさないで「殺される」そう言ったことに正直驚きをかくせない自分がいました。女の子が変れば世界が変わる、それを実感させられた映画でした。
	5	小玉 遥香	自由ではないということがこんなにも残酷なことなのかとよく理解できました。これから国際社会に目を向けようと思います。
	6	齊藤 由希	自分より年下の女の子や同じ年くらいの女の子が夢のためにたくさんの苦勞をしていることを改めて映画で見て悲しい気持ちになったのと同時に、つらい状況の中で努力をつづける姿に感動しました。

E グループ	1	高橋 遥奈	世界にも目を向けると、色んな立場の人がいて、弱い立場の人の手助けがしたいと思いました。力強い女性にとっても勇気をもらいました。
	2	世良 早耶佳	いかに自分が恵まれた生活をしているかが、身にしみました。同世代の女の子が体験している事だと思うと心が痛いです。周りに発信していくことから、はじめていきたいと思います。
	3	池田 穂香	私よりもずっと幼い女の子が、私よりもずっと力強く生きている姿に心打たれ、あたり前のように毎日を生きている私はなんと恵まれているのだろうと思いました。
	4	小山 叶奈代	多くの女性が世界中にいるが、ほとんどの人が幸福と呼ぶことが難しい状況におちいつているんだなと思いました。ひとつに女性といっても、住んでいる環境によってこんなにも違う人生を歩んでいき、困難な道を進んでいかないといけないのだなと思いました。
	5	古瀬 まい	厳しい状況におかれながらも、どうにか与えられたチャンスを逃さずに活かそうとする女達とその家族に感動した。“なぜこの世には美しさと卑しさが同時に存在しているのだろうか”という言葉が一番衝撃的だった。彼女達は自分たちの生活よりはるかに水準の高い世界を知っていて、それでもなお自分の人生をよりよくしようとしているんだと思うと、尊敬します。
	6	小原 奈未	たくさんの女子高校生が海外に行き、現地の人たちを助けたいといった内容のことをおっしゃいましたが、私は実際どんなことが起きているのか無知のままであったのだと実感しました。私たち女性が男尊女卑が色濃く残る地で何ができるか、みんなで話し合いたいなと思いました。
	7	金丸 未来	6億人もの女の子が学校に通えていない。それは単に教育を受けられないということだけではなく、6億人もの可能性や夢、そして未来が奪われることなんじゃないかなと思いました。彼女たちの可能性を広げるためには？それはシンプルな問題ではないのかもしれない。だけど、解決するためのカギの1つって、人間が誰しも持っているであろう、  なのではないだろうかと！！思いました！！
F グループ	1	玉泉 瞳	知っているだけでおわらずに行動にうつしたい。女の子の可能性、勉強の可能性、一人一人の可能性！！
	2	末澤 奈緒	自分が日本に生まれ、あたり前のごはんを食べ、学校に行っていることのありがたさを改めて知りました。「何も発信しないのは、私たちの味方ではない」この言葉にドキッとしました。生まれてきたからには社会に影響力のある人になりたい。
	3	濱崎 真智	自分が幸せな生活を送れていることの尊さを改めて感じました。人種は違うけど、同じ女の子の訴えを肌で感じました。“世界中の女性は平等に教育を受ける権利がある” 私たちが呼びかけるだけでも変わると思います。
	4	飛鷹 彩音	自由を奪われた女性の生の声、実情をこんなに詳しく知ったのは初めてです。幼い子どもや女性は教育を望んでいる人も多く、困難にも立ち向かい行動している人がいることにとっても驚きました。私はまだぜんぜん知らなくて知識不足を痛感しました。理解を深めること、私に何ができるかを真摯に考えていきたいです。
	5	藤原 瞳	「私が決める 私の未来」女の子に対する教育を、時間のムダだったとしない。
	6	高田 裕子	今まで「世界の女の子には学校にいけない子がいる。」ということは知っていたけど、こんなに残酷なものだとは思わなかった。こんな子供たちのために、将来海外にでて、働いてみたい！！
	7	田中 梨里	しょうげきてきなシーンがいくつかあり、思わず目をうばわれた。募金がどれほど大事か考えさせられた。自分にできることをもっと考えたい。

G グ ル ー プ	1	藤田 青空	この映画を見て、自分の未来を変えるのは、自分の身近にいる人だと強く思いました。少女達を支えたのは、両親・先生さまでしたが、共通して言えることは、だれかを思う気持ちがあるのかということだと思いました。心動かされる作品でした。
	2	船橋 来菜	たくさんの国で女の子が困っていることがしっかりわかった。女性の使命もそうだけど、お金のことで辛い思いをする。でもみんなそれぞれの希望と強い意志をもってすごいと思った。
	3	栗子 紗和乃	勇気を出して一歩、前に出ることができれば必ず助けてくれる人があらわれる。あらわれなければいけないんだと強く思い、私たちが手を差し出さなければいけないのだと思った。
	4	稲田 実	貧しくて、生活もままならないという所が多かったように思いましたが、一番はやっぱり学ぶということがどれだけ大切か分かりました。私たちが学習でき、夢を持てることはとても幸せなことだと感じました。
	5	橋之口 千佳	この映画を見て、辛い思いをしても最後まで諦めず戦い続けることはとても勇気がいることだと感じました。世界中の差別を無くすため私たちが今できることを全力でしていきたいです！！
	6	竹田 萌華	学校で教育を受け、知識をつけることは、その人やその子供の命の長さを延ばすことにつながることを、初めて知りました。この2日間で学んだように、このことを自分の中にとどめず、発信していきます。
	7	田内 睦	ワドリーが学校に侵入していたシーンで、ワドリー以外に女の子がほとんどいなかったことから、女性が学習することは難しかったということが分かりました。当たり前のように学校に通えることを改めて幸せだと感じる事ができました。